

2019年8月16日

箕輪町議会議長 中澤 清明 様

箕輪町議会議員 木村 英雄
 箕輪町議会議員 唐澤 敏
 箕輪町議会議員 釜屋 美春

箕輪町議会議員グループ研修派遣結果報告書

箕輪町議会議員の派遣等実施要領第5条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

研 修 名	全国地方議会サミット2019 チーム議会が地域をより良くする
研修の期間	2019年8月1日（木）から8月2日（金）
研修の場所	東京ビックサイト 7階国際会議場
成 果 （具体的に）	<p>8月1日～2日 全国地方議会サミット2019「～チーム議会が地域をより良くする～」が東京ビックサイト7階国際会議場で全国から地方議員、議会事務局職員など約600人が参加して開催されました。</p> <p>今回の研修は、地域を変えるためには議員だけでなく、議会事務局・執行部、学生や市民、有識者などが団結し「チーム議会」となることが必要。チーム議会として議会改革の次のステージへと歩みを進める先進的な議会関係者が集まり、私たちが目指すべき議会の今後の在り方を議論し、議会の在り方を2日間に亘って学びました。</p> <p>（詳細は別紙のとおり）</p>
委員会名 派遣議員名	木村英雄、唐澤 敏、釜屋美春

1 日目

基調講演

「なぜ今“チーム議会”が必要なのか」

北川正恭 早稲田大学名誉教授

執行部と議会は2元代表制である。定数削減、歳費削減、政務活動費を減らすのが改革であったが、もっと前向きに、質的な充実を図らなければならない。地方議員が地方創生の主役に、国指導は失敗、やらせ感、補助金行政。行政からは新たなイニベーションは生まれない。議会はチェック機関に貶められている。政策条例などいろいろな地域と交流して、良い政治の交流から本来の地方創生の実現のために住民の代表である議会が何を指すべきか。量的に削減を減らして、質的な充実を目指すべきである。議会事務局の仕事が増えている。議会事務局の人数をもっと増やして、議員と対等平等に、チーム議会でやっという流れができてほしい。

パネルディスカッション

「NHK地方議員2万人アンケートのホンネ」

江藤山梨学院大学教授

杉田NHK報道局選挙プロジェクト副部長他

全国前議員を対象に調査を行い2万人、59.6%の回答があった。

アンケートから浮き彫りになった地方議会の課題と問題点

なり手不足の要因と解消の方途

魅力の減退⇒住民と歩む議会、住民福祉の向上に貢献する議会の創造

報酬の低さ、定数減による当選ラインの上昇⇒議員報酬の増額、議会事務局の充実

高齢化、自営業、農業の変化など立候補予備軍の衰退⇒住民福祉の向上につながる議会による地域活性化

兼職・兼業禁止等、法制度の拘束⇒現場からの法改正提案

江藤教授は、危機の諸相を冷静に把握するとともに、新たな議会を目指す改革が広がっていることの認識とそのバージョンアップが必要だと考えている。とはいえ広がらない理由とその脱却手法の開発が課題だ。議員は、トンデモ議員だけでなく、住民福祉向上のために真摯に活動する議員もいたし、いる。それが多数派とならない理由の一つが、機関としての活動と連動していないためだったと述べています。

コメント

議会改革の努力を無駄にしないためにも、機関の一員として活動することが求められています。議会・議員の活動規範としての議会基本条例の意義を再確認し、条例を形骸化させない努力をする議会・議員でありたい。

「チーム議会に職員だからできること」

清水滋賀県大津市議会局次長

岩崎茨木健取手市議会局次長他 2 人

職員にとってやりがいのある職場ならば、議会をよくなる。

議員のために仕事をしているというのは違和感がある。職員は公務員、全体の奉仕者であり、議員のためではなく住民のために働く。

一般質問はしっかり調べてから質問すべきであり、通告してから調べるのは相手に迷惑である。一般的に議員は自分を中心に回っていると思っている。挨拶を職員に書かせる議長がいる。議員のメンバーチェンジで、それまでの積み重ねが後退することがある。

講演

「チーム議会の視点から見る議会・議員の役割」

片山善博早稲田大学教授

アメリカの地方議会の状況等を踏まえながら、日本の地方議会の在り方について、意思決定機関としての根本に立ち返って見直すべきとの内容であった。

2 日目

先進事例報告

「チーム議会の実践と課題」

芽室町議会議長

四日市市議会議長

岩倉市議会議長

北海道芽室町は人口 1 8, 5 3 6 人、議員定数 1 6 人

議会改革の 3 つの柱

情報公開 ➡ 本会議、委員会をネット中継、SNS の活用

住民参加 ➡ 議会モニター、議会フォーラム、議会改革諮問会議、議会ホットボイス

機能強化 ➡ 議員研修、議員間討議、文書質問

※議員と議会の活動を知ること

8 年間で 8 3 回の研修会を開催（町民にも公開）

議会改革は目的ではない。住民福祉の向上をいかに達成するかである。

四日市市は人口 3 1 1, 5 5 4 人、議員定数 3 4 人

高校生議会を開催。女性の視点を生かした議会運営。正副議長選の所信表明を公開で実施。

岩倉市は人口47,917人、議員定数15人

議会報告会と意見交換会を実施している。議会報告会は参加者が1名まで減少したが、定例会の前に開催したところ28名の参加者があった。テーマは執行機関の重点施策をテーマに設定した。議会サポーターを実施しており、平成30年度は85件の意見が寄せられた。

パネルディスカッション

「チーム議会の視点から首長との関係を考える」

滋賀県湖南市長

兵庫県川西市長

京都府京田辺市長他

パネルディスカッションの中で一般質問が議題となりました。一般質問をする場合、なぜこの問題を一般質問で取り上げたのかの説明がない。職員に聞けばわかる問題を質問されることが多い。議員はもっと勉強とかしっかり調査研究をしてから質問されたほうが良いのでは。執行部としては今のままのほうが楽ですが。との厳しい指摘がありました。一般質問は毎回しなくても、しっかり調査してから首長の姿勢を正すことが大切だと思います。

先進事例報告

「チーム議会の視点から選挙の在り方を考える」

早稲田大学マニフェスト研修所事務局長

公明党岡山市議団

議長選挙で所信表明等を導入している議会、43% 住民に公開している議会、17.8%

議員選挙後も選挙公報を常に住民が見えるところに掲示することが大切である。

公明党岡山市議団は市民調査に基づき、多様な市民増を念頭に置き、3つの重点プランを提示し、議会基本条例に明記された、議員の責務、政務活動の趣旨に即した用途など、議会改革の中から政策提言を生み出している。

パネルディスカッション

「チーム議会の視点から選挙の在り方を考える」

青森中央学院大学准教授

長野県飯綱町議会議員

愛知県新城市議会議員

岐阜県可児市議会高校生議会他

「国会は地方議会をどう見ているのか」

石破 茂 自由民主党衆議院議員

稲津 久 公明党衆議院議員

逢坂誠二 立憲民主党衆議院議員

広瀬克哉 法政大学教授

コメント

地方議会のあるべき姿、抱えている問題など、全国から議員が集まりパネルディスカッションなどを聞き、研修をいたしました。よく議会は町長、町政の監視役と言われますが、本来は町民の意思を反映し「決める」ことが機能であると強調されていました。議会の最大の使命は、質問することではなく決めることであることを、私たちもしっかり考えていかなければと思います。